

「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」

- 避難確保計画を作成する施設管理者等、及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難確保計画の作成又は確認時において、避難の実効性を確保する上で基本となるポイントや注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画。
- 国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、項目ごとの留意点について分かりやすく解説しています。

URL: <https://youtu.be/Va4O0F33ucs> 【国土交通省YouTube】



【動画の画面例】

**要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・確認のポイント**

令和 5 年 3 月
国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課・砂防計画課

【計画様式】

社会福祉施設
避難確保計画

対象災害：水害（洪水、雨水出水、高潮、津波）
土砂災害（内けずれ、土石流、地すべり）

【施設名： ○○○○ホーム】

2022 年 4 月作成

【チェックリスト】

＜避難確保計画のチェックリスト＞

避難確保計画の項目	チェック項目	備考
避難確保計画の策定・更新の有無	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の時期	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の場所	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の担当者	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の承認	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の記録	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の報告	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の公表	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の周知	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の訓練	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の点検	策定済み	
避難確保計画の策定・更新の改善	策定済み	

※ 計画様式やチェックリストは、所在する市町村で独自に用意している場合があります。
避難確保計画を作成する際は、市町村にて確認ください。

2. 災害リスク等の確認

様式 1-3 施設が有する災害リスク

災害リスク	確認項目	確認結果
水害（洪水、雨洪水）	浸水深、浸水継続時間を確認	0.5m～3m 1日～3日未満
雨水出水浸水想定区域（洪水）	□該当なし □該当あり	0.5m～1m 12時間～1日未満
高潮浸水想定区域（高潮）	□該当なし □該当あり	0.5m～3m 1日～3日未満
津波災害警戒区域（津波）	□該当なし □該当あり	2m 50分
土砂災害	□該当なし □該当あり	□該当（以下の該当する分類に○） □がけ崩れ（急傾斜地の崩壊） □土石流 □地すべり（地滑り）

5. 避難誘導

様式 4-6 避難誘導

①原則、施設利用者の適切な支援を提供できるA会（系列グループホーム）に立退き避難をする。
②避難する時間が確保できない場合は、指定緊急避難場所に立退き避難をする。

洪水	避難先名称	避難距離	避難方法	避難に要する時間	避難開始基準
系列施設や他の避難施設	A会（系列グループホーム）	1,000 m	徒歩	4 分	警戒レベル3 高齢者等避難
指定緊急避難場所	B小学校（校舎2階以上）	500 m	徒歩	4 分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所	○○ビル	200 m	徒歩	4 分	警戒レベル3 高齢者等避難
屋内安全確保	本施設2階○○室	50 m	エレベーター、車椅子、ストレッチャー	15分	警戒レベル3 高齢者等避難

避難方法や避難に要する時間を確認